



↑JCSNが運営するチャリティーショップ



「物を売る場所だけではない」ということも、大きな意義です」と賛川理事は語る。善意を持った人や物が集まる場所であるC

中古品、なぜチャリティーショップに集まる？ 物売るだけでない意義

寄付件数は年間10万2000件以上、来客数はおよそ44万4000人以上。神奈川県を中心にチャリティーショップ「WEジャパン」を55店舗展開する、WE21ジャパン・グループ。ショップをメインとした事業で2015年度は、3億6000万円の総事業高をあげた。

リサイクルショップやフリマアプリといった選択肢が増える中で、なぜ人々はチャリティーショップに中古品を寄付し、そこで買い物をするのだろうか。

聞きたい！
知っておきたい！

ためショップで販売する商材は買取でなく寄付で集めた物。働くスタッフも主婦や学生など有志のボランティアが大半を占める。

この善意の仕組みを成り立たせるには、「なぜ支援が必要なのか、具体的にどんなことをしているのかを正確に知ってもらうことが大切」。

店頭には海外情勢を伝えるポスターを貼り、お手製のミニブックやパンフレットをお客に配っている。定期的に店内で勉強会や講座も開く。

伝える情報は、新聞やテレビとは一味違った視点だ。「我々が支援活動をする中で実際に見てきた風景、触れ合った人々のことを伝えています」。彼らが語るリアルなストーリーが、メイン客層である中高年女性の心を動かす。

東北・熊本で 災害時にも活躍

「物を売る場所だけではない」ということも、大きな意義です」と賛川理事は語る。善意を持った人や物が集まる場所であるC



WE21ジャパンの理事でJCSN共同代表の賛川恭子氏(中央)、新田恭子氏(左)、古賀智子氏(右)



↑店内の様子。「例えば、【カンボジアへ医療支援をしています】だけでは足りない。カンボジアでは貧困の連鎖が問題となっており、医療費を賄えず借金を重ね、結果次の世代も貧困に陥るという状態があります。その問題点を分かりやすく図解して解説しました」

全国6団体で JCSN設立

2015年12月、WE21ジャパングループを含むCS運営全国6団体が集まり、日本チャリティーショップ・ネットワーク(＝JCSN)を設立した。国内でのCS普及活動に尽力していくという。

「普及している英国では、リサイクルショップ市場とは別に、CSの市場が確立されている。それは社会的に重要で価値があるものと認知されているからでしょう。日本でも認知度を上げ、今一度CSの立ち位置や、意義を伝えていかなければなりません」(賛川理事)